

## I 第22週の発生動向 (2017/5/29~2017/6/4)

1. 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内で**注意報**が発令されました。むつ保健所管内では、定点当たり報告数が他の保健所管内より多い状態が続いていますので、引き続き注意が必要です。
2. 咽頭結膜熱については、県全体の定点当たり報告数が2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多くなりましたので注意が必要です。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較して多い状態が続いていますので注意が必要です。
4. 感染性胃腸炎については、五所川原保健所管内で定点当たり報告数が他の保健所管内より多い状態が続いていますので、引き続き注意が必要です。
5. 流行性角結膜炎については、県全体の定点当たり報告数が2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較して多くなりましたので注意が必要です。

## II 第22週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科	インフルエンザ	2	0.15	6	0.40	21	1.40	1	0.14	22	2.44			52	0.80	-18
小児科	RSウイルス感染症									1	0.17	2	0.50	3	0.07	0
	咽頭結膜熱	8	1.00	3	0.33	5	0.50	6	1.20	2	0.33	2	0.50	26	0.62	10
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	2.75	20	2.22	30	3.00	9	1.80	3	0.50	5	1.25	89	2.12	12
	感染性胃腸炎	46	5.75	46	5.11	59	5.90	71	14.20	13	2.17	30	7.50	265	6.31	26
	水痘	8	1.00	2	0.22	2	0.20	3	0.60	4	0.67			19	0.45	-14
	手足口病					4	0.40			2	0.33			6	0.14	-2
	伝染性紅斑	10	1.25							1	0.17			11	0.26	0
	突発性発しん	2	0.25	3	0.33	6	0.60	3	0.60	1	0.17	5	1.25	20	0.48	-8
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ					1	0.10							1	0.02	-4
流行性耳下腺炎	2	0.25							7	1.17	13	3.25	22	0.52	7	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	2	1.00			4	2.00	1	1.00					7	0.64	3
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											4	4.00	4	0.67	-6
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)					2	2.00	2	2.00			2	2.00	6	1.00	5

■は警報、■は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

## 感染症の窓

### 梅毒 (五類全数把握対象疾患) 第2回

梅毒は、梅毒トレポネーマという病原菌による感染症で、主に菌を排出している感染者との性行為や疑似性行為によって感染します。感染すると経過した期間によって様々な症状が現れますが、時に無症状のまま進行することがあります。

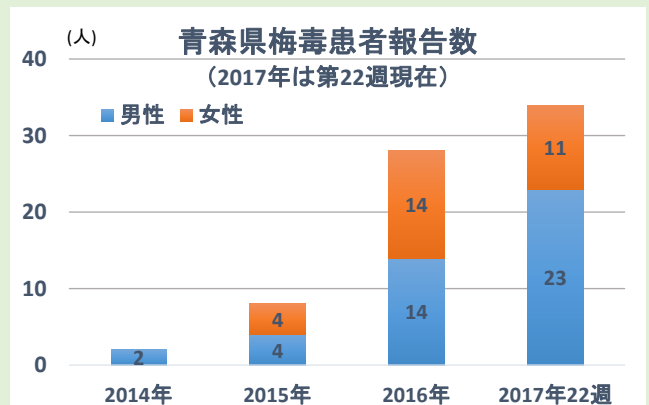
感染の早期には、感染部位(陰部、口唇部など)に痛みの無い潰瘍やしこりが形成されますが、治療しなくても軽快します。しかし、体内から菌がいなくなったわけではなく、他人にうつす可能性があります。検査せずに治療が遅れたり、放置してしまうと、菌が直接中枢神経に侵入して起こる神経梅毒に進展することがあります。早期の治療によって完治が可能ですので、早めに医療機関を受診しましょう。

予防としては、コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができます。

青森県における報告数は、2016年に前年の3倍以上の28例に増加しました。2017年は第22週現在で34例に達しており、既に報告数が前年を上回っています(図)。

2015年の全国の報告数のうち、約3割は臨床症状が認められない無症候梅毒でした。梅毒は検査をしないとわかりません。感染の可能性がある場合には、早期にパートナー等と一緒に検査を受けることが重要です。

○詳しくはこちらをご覧ください [梅毒とは \(国立感染症研究所HP\)](#)



### Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握対象疾患)：八戸市1人、五所川原1人、上十三3人、むつ2人 (2017年計:128人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握対象疾患)：青森市2人 (2017年計:6人)
- ・梅毒(五類全数把握対象疾患)：八戸市1人 (2017年計:34人)

### Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

### Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2017年第5週～2017年第22週)

- ・第22週の患者報告数は52人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは50人【A型：6人、B型：44人】でした。

#### 保健所管内別報告数 (人)

保健所名	週	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方+青森市		370	435	372	336	294	151	100	70	58	53	62	31	39	53	28	7	4	2
弘前		336	290	183	111	123	153	152	120	103	93	56	47	36	12	6	15	18	6
三戸地方+八戸市		412	384	287	209	219	205	122	72	84	72	56	68	36	28	37	41	23	21
五所川原		160	223	127	55	52	52	80	97	67	33	34	40	28	10	10	1		1
上十三		330	346	278	189	133	124	160	156	178	55	26	28	24	18	13	15	23	22
むつ		335	284	255	177	157	125	67	27	27	24	21	33	15	23	13	7	2	
合計		1943	1962	1502	1077	978	810	681	542	517	330	255	247	178	144	107	86	70	52

#### A型 (迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名	週	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方+青森市		365	427	362	322	290	146	96	64	51	47	48	25	21	26	7	4		1
弘前		336	289	183	111	122	152	146	115	97	77	42	31	24	6	3	13	18	3
三戸地方+八戸市		362	364	268	201	212	195	114	64	64	54	21	23	4	11	9	5	3	2
五所川原		160	223	127	55	51	52	80	96	65	27	14	18	4	2	3	1		
上十三		311	326	251	172	111	112	145	140	160	43	18	17	8	4			1	
むつ		334	282	255	177	152	123	63	25	16	22	20	25	6	1	3			
合計		1868	1911	1446	1038	938	780	644	504	453	270	163	139	67	50	25	23	22	6

#### B型 (迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名	週	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
東地方+青森市		1	1		2		2	2	4	4	6	14	6	18	19	20	3	4	1
弘前			1			1	1	6	5	15	16	14	16	12	6	3	2		3
三戸地方+八戸市		20	5	5	4		6	4	7	15	18	33	45	29	17	28	36	20	19
五所川原						1			1	2	6	20	22	24	8	7			1
上十三		3	3	5	10	11	4	9	7	12	7	7	7	8	14	13	15	22	20
むつ		1	2			5	2	4	2	11	2	1	8	9	22	10	7	2	
合計		25	12	10	16	18	15	25	26	59	55	89	104	100	86	81	63	48	44

#### 年齢区分別(人)

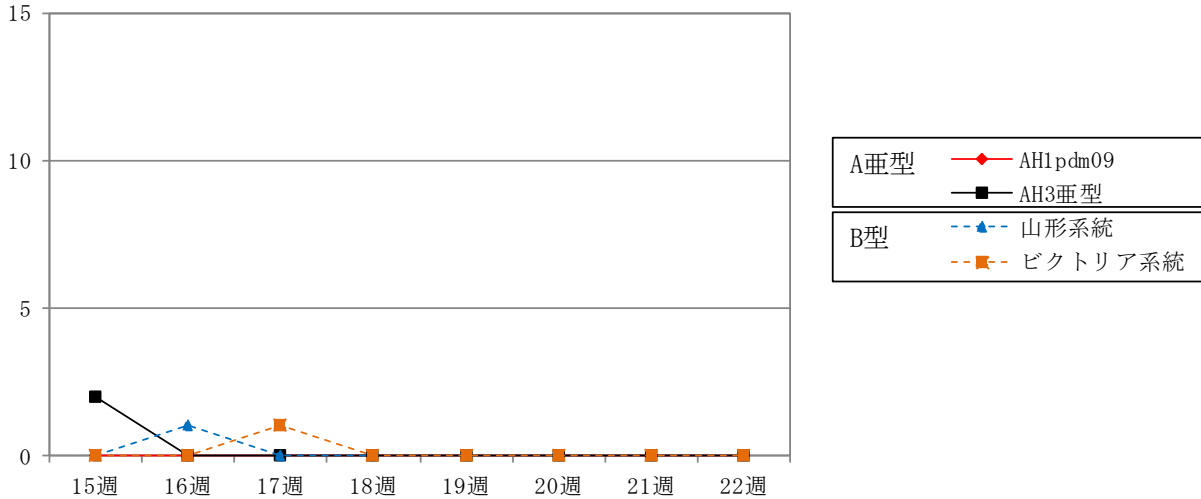
年齢	週	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
～5ヶ月		6	4	3	3	5	2	3	1	2	3		1						1
～11ヶ月		15	15	18	10	4	7	10	9	6	9	5	1	2	2	1			1
1歳		62	64	49	44	32	12	41	14	15	14	13	10	5	5	3	4	1	
2歳		46	87	59	39	33	22	25	16	25	19	18	19	4	5	4	4	3	1
3歳		77	99	73	48	52	31	36	15	33	20	13	11	3	3	8	4	2	1
4歳		83	81	80	60	37	52	29	26	40	18	27	21	11	6	6	9	4	1
5歳		68	83	69	72	53	33	30	23	37	30	22	15	11	6	8	2	6	2
6歳		92	84	82	81	47	52	37	23	21	16	9	11	6	17	5	4	6	4
7歳		83	98	68	32	50	23	43	21	20	6	10	17	16	12	3	1	1	1
8歳		93	94	83	46	38	27	23	21	24	10	11	14	9	5	6	4	3	1
9歳		96	95	80	53	48	44	29	15	19	6	8	10	6	3		3	4	7
10～14歳		475	431	257	189	194	135	103	80	60	25	21	23	34	22	27	34	30	19
15～19歳		152	115	75	46	66	48	34	29	17	14	8	9	7	6	2	3		4
20～29歳		67	93	81	43	30	38	28	19	24	15	11	9	8	7	2	1	1	
30～39歳		117	108	90	75	59	57	54	55	30	32	13	15	10	14	9	1	1	2
40～49歳		124	123	82	60	50	52	41	40	35	15	13	8	11	7	6	8	6	4
50～59歳		78	95	86	65	54	38	24	28	29	24	18	16	11	5	4	1		1
60～69歳		90	78	72	47	45	54	35	31	30	21	13	12	7	8	3	1	1	3
70～79歳		66	49	41	24	37	37	21	40	26	11	12	9	5	2	7	2		
80歳以上		53	66	54	40	44	46	35	36	24	22	10	16	12	9	3			

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果

インフルエンザウイルス		2017年								直近5週間 合計	2016/2017 シーズン 合計
		15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週		
提出検体数		2	1	1	0	2	0	0	0	2	87
A型	AH1pdm09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	AH3型	2	0	0	0	0	0	0	0	0	62
B型	山形系統	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	ビクトリア系統	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
合計		2	1	1	0	0	0	0	0	0	67

注1) 2016/2017シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2017年第19週～2017年第22週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19	H29.5.8 ~ H29.5.14			レジオネラ症1人			梅毒1人
20	H29.5.15 ~ H29.5.21	つつが虫病1人 後天性免疫不全症 候群2人	梅毒1人			梅毒2人	
21	H29.5.22 ~ H29.5.28	つつが虫病1人 梅毒2人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人		
22	H29.5.29 ~ H29.6.4	侵襲性肺炎球菌感 染症2人		梅毒1人			

VIII 結核(二類全数把握疾患)（2017年第19週～2017年第22週） (人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19	H29.5.8 ~ H29.5.14	4		2	1		
20	H29.5.15 ~ H29.5.21	1	2	1		1	1
21	H29.5.22 ~ H29.5.28	1	3	3			
22	H29.5.29 ~ H29.6.4			1	1	3	2

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第21週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病	
累積報告数	8576	1	57	420	14	6	150	124	14	6	

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病
累積報告数	1	21	1	75	73	36	1	1	13	1

分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	482	2	419	123	562	306	3	71	244	518

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん
累積報告数	29	162	12	1647	104	1961	56	28	29	39

分類	五類	五類
疾病名	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	165	11

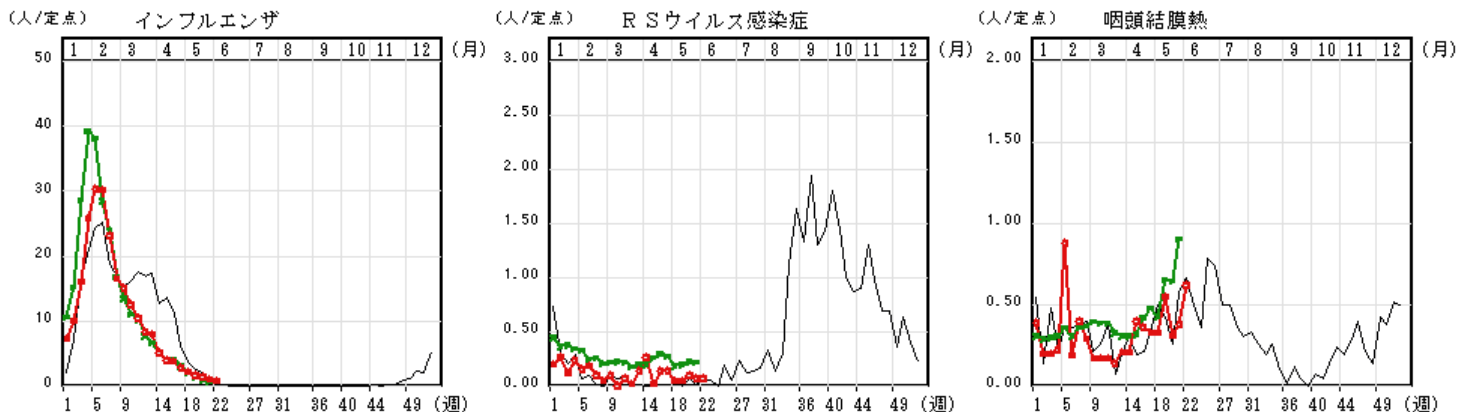
青森県（2017年第22週までの累計）

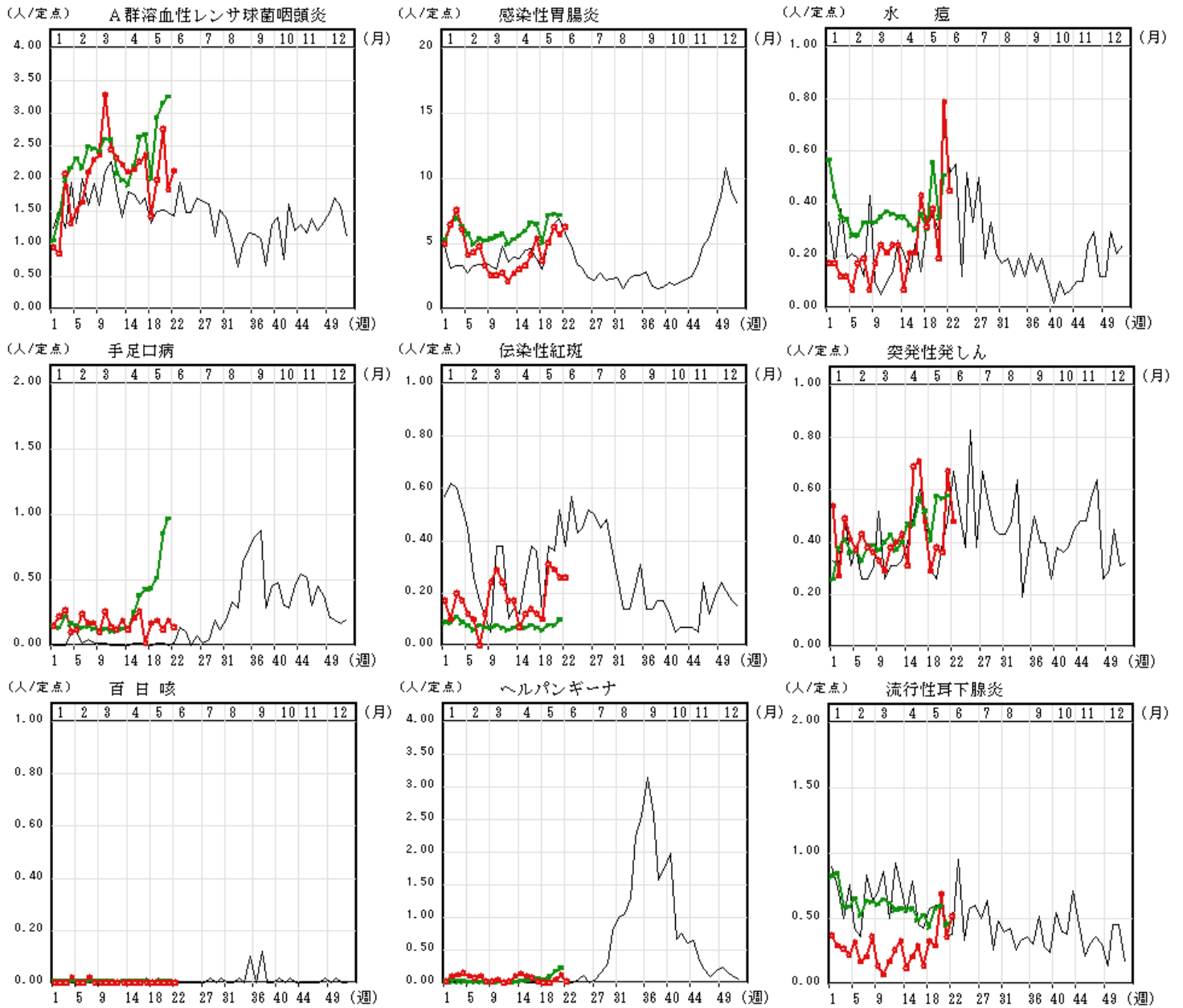
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	128	5	4	1	4	6	2	7	1	2

分類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒
累積報告数	5	6	34

X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第22週、ただし全国は前週）

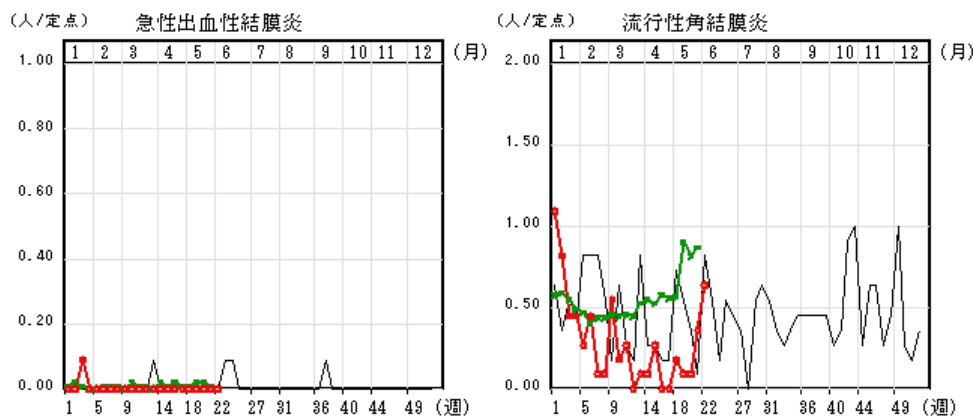
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





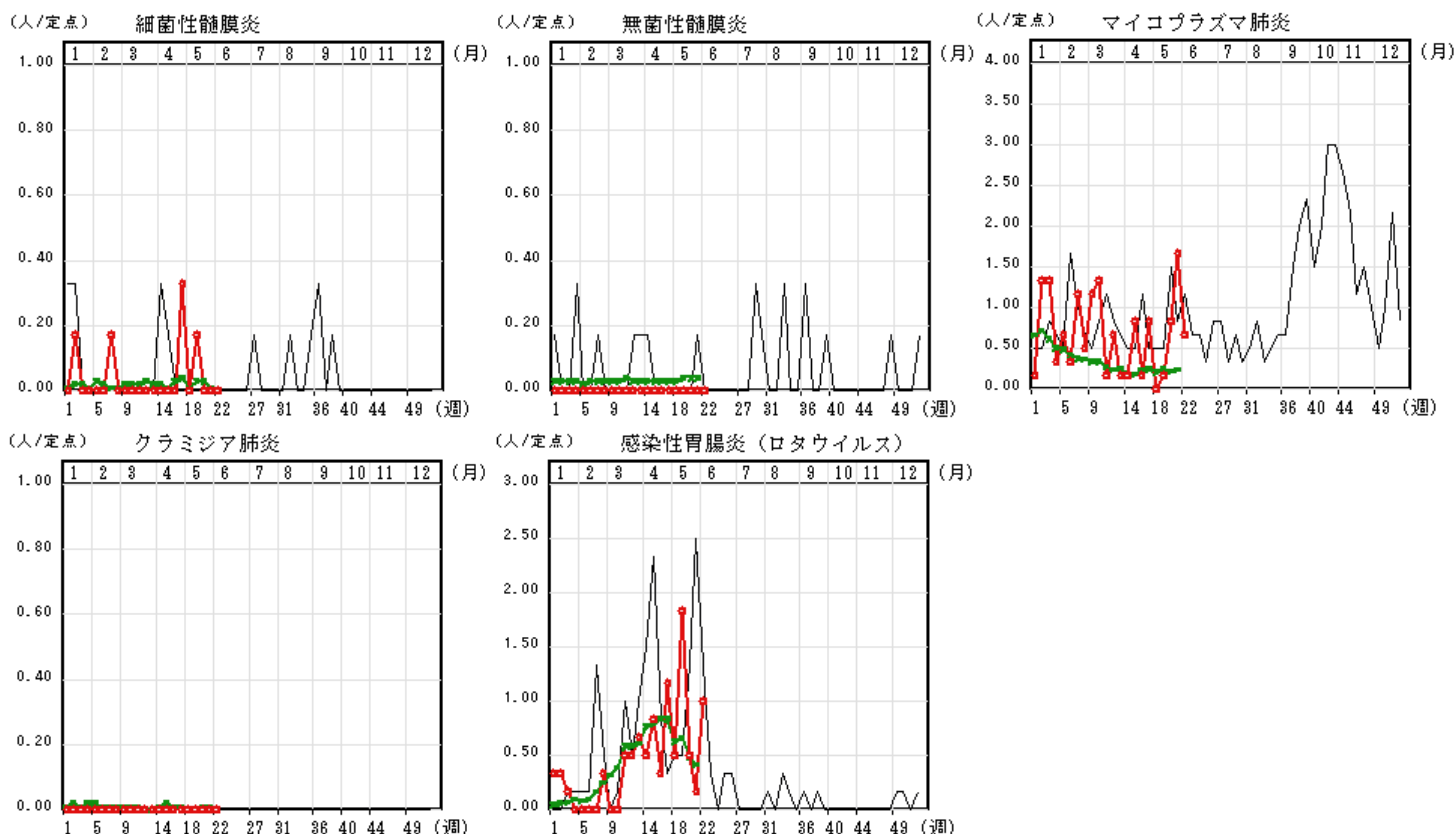
XI 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第22週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国



XII 基幹定点把握疾患週別推移（2017年第22週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第22週

報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別		月(週)						計 (施設別)
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-12週	4月 13-17週	5月 18-21週	6月 22週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	6
	発症者数	13	48	14	0	44	0	119
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	9
	発症者数	13	103	14	38	44	0	212